



# 船穂中つれづれ

令和7年度学校通信  
令和8年1月24日  
第30号



学校教育目標：変化いく社会に対応できる、心豊かな主体性のある生徒の育成を図る  
令和7年度重点目標：主体的な学習「わかった」「できた」「やってみよう！」＜授業改善＞  
自己肯定感の向上 「船穂大好き・人大好き」＜探究学習＞

船穂中HP

## ～私立1期入試が終わりました～

1月22日・23日は、私立1期入試でした。3年生のうち、69名が受験に臨みました。前日の21日には、5時間目に事前指導を行いました。どの生徒も緊張した表情ではありましたが、引き締まった顔つきで事前指導での話を熱心に聞いていました。早いものです。この3年生とは、昨年4月に会いましたが、明るくてパワーがある学年というのが第一印象でした。一方で、にぎやかでおしゃべりが尽きない一面もありました。そんな彼らが、事前指導で整然と入場し、真剣な表情で話を聞く姿を見て、この2年間の大きな成長をひしひしと感じました。それぞれがこれまでの努力を胸に、試験に臨んだことと思います。私立専願の生徒もいますが、多くの生徒はこの後、公立特別入試や一般入試を控えています。まだまだ入試は続きます。学校全体で、3年生一人一人を支え、最後まで応援していきたいと思っています。



## ～1年生 被爆体験者講話～

1月16日（金）1年生は、5月に行われる広島平和学習の事前学習として、広島被爆体験伝承者講話研修を行いました。広島平和文化センターより兼沢清美さんをお招きしました。生徒たちは、兼沢さんがお話しくださる原爆投下時の惨状やその後の広島の様子を、目をしっかりと開いて真剣に聞きき入っていました。



### 【生徒の感想】

○今日の講話を聴いて、平和をつくるには、世界みんなが一つのチームになる必要があると思いました。一人一人が平和について理解し、それを途切らせないように、伝えていくことが大切だと思いました。自分にできることは、まず平和について理解することです。小さなことからやっつけていこうと思いました。

○私は、若い人が被爆体験講話を聴いて、次の世代に受け継いでいかなければいけないと感じました。今も昔も戦争で犠牲になっている人々がいることを絶対に忘れてはいけないと思いました。改めて、平和とはどういうものなのか、周りの人と話し合いたいです。

○被爆者目線のリアルなお話をお聴きしました。今私が、家族や友達と何気ない会話を交わすことができている、それが当たり前だと思っていることが、約80年ほど前には、ほど遠いことだったと知りました。改めて今自分が幸せに生きられていることに感謝したいと思いました。



## ～凧あげ・船穂幼稚園の子どもたち～

1月19日（月）と23日（金）の2回、船穂幼稚園のかわいい5歳児のみなさんが、中学校の校庭で凧揚げをしました。幼稚園の園庭では狭くて走り回ることができないので、中学校の運動場までやってきて凧揚げをしました。思い思いに自分で書いたイラストの凧を持ち、「先生～～、行くよ～、見ててね～～」と、元気いっぱい声。園児が一生懸命に走ると、風を受けて凧は高く上がっていきました。気持ちの良い青空に凧が舞い上がる様子は、微笑ましい光景でした。金曜日は特に寒い1日でしたが、幼稚園生は元気いっぱい！休み時間には、中学校の生徒たちが手を振って幼稚園生たちを喜ばせていました。心あたたまる交流に、こちらも心がほっこりする時間となりました。

